４月27日（木）初回講義の内容及び関係者コメント

◆初回授業の内容

１　ウォーミングアップ

　　「あなたは１日にどれくらいの水を使用しているでしょうか？」、「上下水道が使えなかったらどうなるか」など簡単な質問により、上下水道事業について興味を持ってもらった。

２　水道事業・下水道事業とは

　　水道事業・下水道事業とはどのような事業であるのかを紹介した。

３　岡崎市の水道事業・下水道事業の紹介

　　岡崎市の水道事業・下水道事業を例に、水道水が家に届いてからきれいになって矢作川に戻されるまでの一連の流れ等を紹介した。

４　上下水道事業の課題

　　人口減少や老朽化など。水道事業・下水道事業が抱える問題を紹介した。

５　課題解決に向けて

　　３の課題に対する岡崎市上下水道局の取組を紹介し、これらの課題解決に向けた根本的なテーマとして、学生に以下のテーマを提示した。

①水道水をもっと飲んで、もっと使ってもらいたい

②下水道の役割や大切さをもっと知ってもらいたい

６　具体的な取組紹介

　　４で提示したテーマに関係する岡崎市上下水道局の取組を紹介した。

受講した学生の感想

・トイレで流した水がどこに行くのか気にしたこともなかったので、上下水道局の方の話を聞いて勉強になった。

・自分が子供の時にどぶで遊んでいたが、汚いので自分の子供に同じことはさせたくない。早く下水道が整備されたらいいなと思った。

・水飲み場を活用したPRがあるといいのではないかと思った。今後の授業で考えてみたい。

中京大学経済学部　齊藤　由里恵　准教授のコメント

人口減少、高齢化、多様な働き方など、社会環境の変化に応じて、社会には様々な課題が山積しています。その中で、大学での学習をはじめ社会生活においては、自律的な思考力が求められています。

本取組で学生には、現実にある上下水道事業の課題を題材にして、発見力、計画力を養ってもらいたいと考えています。さらに、その中で生み出された学生のアイディアが、上下水道事業の課題解決の一助になることを期待しています。

講義を行った岡崎市上下水道局経営管理課職員のコメント

上下水道事業には人口減少や老朽化など簡単には解決できない課題が多くありますが、これらの課題へ立ち向かうためには、市民の皆様に上下水道事業の存在や重要性を理解し、よき理解者として「サポーターのような存在」になっていただくことが重要です。

講義の冒頭で、「上下水道が使えなかったらどうなるか」などの簡単な質問をしましたが、上下水道が使えることが当然すぎるからか、多くの学生はそのありがたさや重要性に気づいていない様子でした。

学生の方々には、講義を通して、公営企業の仕組みや目に見えにくい上下水道事業の仕組みや役割、現状についての理解を深め、受講前の自分をイメージしながら、どうしたら水道水を飲んでもらえるか、どうやったら下水道の大切さが伝わるかなどというテーマに取り組んでいただきたいと思います。